

授業科目名・形態	健康課題別活動論 I 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	藤田 碧	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

障がい者（児）・精神障がい者・難病などの脆弱性やリスクを抱えた対象に対する保健活動の変遷や動向を踏まえ、各対象を適切に理解し、支援の体制や基本姿勢を学びます。また、対象者だけでなく、集団や組織、地域の支援システムや支援体制づくりと連動した理解をし、困難と共に生きる人々の QOL の向上に貢献する公衆衛生看護活動の方法を学びます。

【到達目標】

1. 障がい者（児）、精神障がい者、難病を抱えた対象への保健医療福祉活動の歴史の変遷、現在の動向や施策を理解できる。
2. 各対象の特性と生活問題や健康課題を理解できる。
3. 各対象の特性に応じた支援（保健活動）を理解できる。
4. 社会資源の活用や関係機関との連携、地域ケア体制づくりを考えることができる。

【授業計画・内容】

第 1 回	障がい者（児）保健福祉活動	障がい者（児）保健医療福祉の動向
第 2 回	障がい者（児）保健福祉活動	活動の根拠となる法律・制度
第 3 回	障がい者（児）保健福祉活動	福祉分野で働く保健師の役割
第 4 回	難病保健活動	難病保健医療福祉の動向・活動の根拠となる法律・制度
第 5 回	難病保健活動	難病保健活動の特徴
第 6 回	難病保健活動	難病療養者の生活と健康課題
第 7 回	難病保健活動	障害者総合支援法と相談支援活動
第 8 回	難病保健活動	難病療養者への支援 I
第 9 回	難病保健活動	難病療養者への支援 II
第 10 回	精神保健活動	精神保健医療福祉の動向・活動の根拠となる法律・制度
第 11 回	精神保健活動	メンタルヘルス不調、精神疾患、精神障がいの理解と支援
第 12 回	精神保健活動	精神障がい者の健康課題・生活課題と支援体制
第 13 回	精神保健活動	社会病理を背景とする健康課題と支援
第 14 回	精神保健活動	地域で生活する精神障がい者の支援体制
第 15 回	精神保健活動	災害時のメンタルヘルス対策

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

教科書を読んで講義に臨み、講義後は学修内容を復習する

【主な関連する科目】

「社会福祉概論 I」「社会保障論 I」「障がい者（児）の福祉」「成人看護学」「精神看護学」「公衆衛生看護学実習 I・II」など 公衆衛生看護学の科目

【教科書等】

岡本玲子ほか：公衆衛生看護学テキスト第 3 巻 公衆衛生看護活動 I 第 2 版 医歯薬出版株式会社 2022
厚生統計協会編「国民衛生の動向 2022/2023 年」2022 年

【参考文献】

小川一枝・小倉郎子：難病の保健師研修テキスト，東京都医学総合研究所,2017

【成績評価方法】

受講態度等（5%）、提出課題（25%）、定期試験の成績（70%）による総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師経験、また NPO 活動でのハイリスク者への支援や多職種連携の経験を基に、困難とともに生きる方々から学んだことを伝え、最善の支援を共に考えていきたいと思ひます。

【学生へのメッセージ】

2年生までの関連科目を復習して、授業に臨みましょう。授業で取り上げる内容は保健師活動として、基本的な分野です。困難とともに生きる人が、地域で希望を持ちながら、またはその人なりの役割を果たしながらどのように過ごしているか、何があればそれを実現できるか、真剣に向き合ひましょう。医療機関の外側にある困難と豊かな支援に思いを手向けることができるための知識と考察力を拓けていきましょう。これらの方々が生きやすい社会は、全ての人にとって生きやすい社会となるはずです。